

研究実施のお知らせ

2021年9月17日 ver.1.0

2023年1月13日 ver.2.0

研究課題名

当院における人工授精の治療成績に関する検討

研究の対象となる方

2018年1月から2021年12月の間に島根大学医学部附属病院で不妊症と診断され、人工授精を受けられた方で妊娠の有無が判明している方

研究の目的・意義

人工授精は採取した精液を遠心分離機にかけ、運動性の高い精子を回収して子宮内に注入する方法です。適応としては①軽度乏精子症・精子無力症、②射精障害・性交障害、③精子-頸管粘液不適合症例、④機能性不妊（原因不明不妊）になります。一般不妊症治療として広く行われていますが、妊娠率は一般的に5～10%で期待するほど高くありません。

軽度乏精子症・精子無力症の適応で人工授精をする場合、適応となる総精子数は原液で500～1000万以上、調整後80～100万以上と報告により幅があり、一定の基準は現在のところありません。

機能性不妊に対しては、通常タイミング療法を一定期間行っても妊娠に至らない場合、次のステップとして人工授精が選択されます。妊娠例は最初の3～4周期で得られることが多く、4～6周期をめでに体外受精へステップアップすることが多いですが、現在のところ施行回数に制限はありません。

妊娠率は女性の年齢に依存するところも大きく、人工受精の回数を長く重ねることは妊娠の可能性を低下させる要因となります。当科における人工授精の治療成績を明らかにすることで、今後患者さんひとりひとりに適切な治療法を選択するための一助になる可能性があります。

研究の方法

当院で人工授精を行い、妊娠の有無が判明している患者さんのカルテから診療内容（年齢、パートナーの年齢、精液検査値、人工授精施行回数、妊娠の有無など）、体外受精の治療成績を調査いたします。この研究によって得られる個人情報、決して外部に漏れることないように責任をもって厳重に管理します。また、病院関係者

にも漏れることないように管理いたします。研究に用いる診療情報、解析データは島根大学医学部産婦人科学講座において厳重に管理します。

研究の期間

2021年11月25日～2023年5月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を特定できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部周産期母子医療センター 金崎春彦

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2023年4月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部産科婦人科学講座／附属病院周産期母子医療センター

金崎 春彦

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2268 FAX 0853-20-2264

研究事務局

島根大学医学部産科婦人科学講座

折出 亜希

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2268 FAX 0853-20-2264